

「人新世」と唯物史観

友寄英隆著

22年
6/19付

雑誌『経済』編集長などを歴任した著者が「マルクス、エンゲルスはどう



本の泉社
2000円

考えたか」という視点から、地質学、医学、自然災害など従来あまり取り上げられなかったテーマを論じ、新しい民主主義革命の課題を探っています。

人類の活動が地球環境を壊す新たな地質年代として提起された「人新世」をめぐり、生産力の発展にストップをかけるべきだという議論は唯物史観と相いれないと批判。同時に、21世紀の現実解明を中心に据えた『資本論』研究の必要性を強調しています。

赤旗日曜版 (29)